

3つの視点で海洋生物と環境を可視化

海洋生物ビッグデータ活用技術高度化



文部科学省

地図の視点

1.Kubota project

新たな定量評価

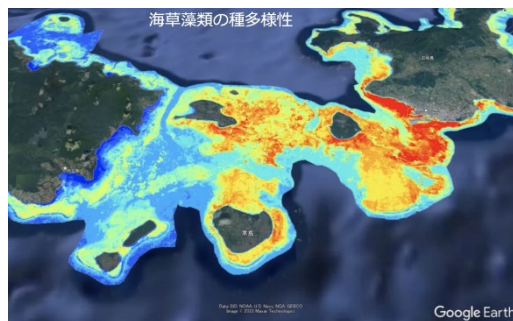


課題1.「海洋生物多様性ビッグデータ汎用化の基盤技術と海の豊かさを守る応用技術の開発」

琉球大学 久保田康裕

■ 実施内容

- ① 種々のデータを統合し、海洋生物多様性ビッグデータの基盤となるプラットフォームを構築
- ② 海洋保護区の最適配置や海洋生態系の劣化リスク等の分析技術を開発
- ③ 海の豊かさの脅威に係る評価監視システムを構築し、政策決定の根拠となるデータを提供



ocean180



動物の視点

3.Sato project

新たなプラットフォーム

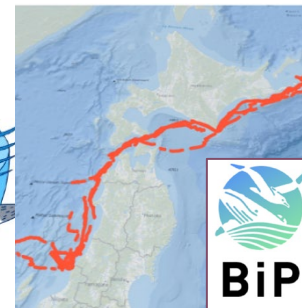


課題3.「バイオリギングで実現する海洋生物と人の持続可能な共生社会」

東京大学 佐藤克文

■ 実施内容

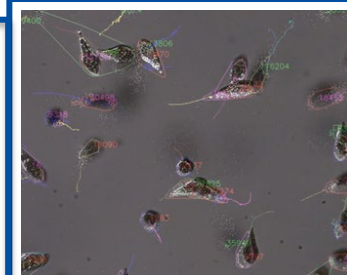
- ① バイオリギングデータ利用の基盤となるインテリジェントプラットフォームを構築
- ② データのリアルタイム配信について検証を実施、データの利便性を高める
- ③ 気象庁物理モデル等へ洋上等のデータを提供し、日々の予報や防災情報の高精度化



ミクロの視点

2.Takatsuka project

新たなセンサー



課題2.「イベントベースビジョンセンサー (EVS) を用いた海洋粒子ビッグデータ生成」
ソニーコンピュータサイエンス研究所 高塚進

■ 実施内容

- ① プランクトンや粒子態有機物などの海洋粒子データを収集・解析するクラウド開発
- ② 観測展開による長期・広域・高時空間分解能な海洋粒子データの取得と解析技術開発
- ③ 水産資源量の変動・予測情報を発表

